

網張ビジターセンター ニュースレター



Vol.51
2013.11



食欲の秋!

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

“ヒメツチハンミョウ”のエネルギー補給

今年の落ち着いたトーンの紅葉の時期が終わり、落葉した枯葉が積もる中にメタリックな装いのヒメツチハンミョウがいました。決まって晩秋の晴れた日に、モリモリと残り少ない葉っぱを食べる姿を観察することができます。さながら“初冬を知らせる使者”とでも言えそうです。この仲間は他の昆虫とは桁違いの数千個の卵を産みますが、それはなぜでしょう？

土の中で孵化した幼虫はアザミなどの花に待機し、蜜を求めてやってくるハナバチ類の体にしがみつき、巣に運ばれ、巣にある卵に運よく飛び移ったものだけが生き残るサバイバルな生き方をしているため、数多くの卵を産むと考えられています。少ない確率を生き抜いてきた彼女たちを見かけたら「よく頑張ったね」と声をかけたくありませんか？

What is
“Himetsuchihanmyou” ?

「黒藍色のツチハンミョウ」

ツチハンミョウ科
体長：9～23mm 前後
分布：本州～九州

メスの腹部には大量の卵があり大きく膨らんでいる。上翅は短く飛ぶことができないが、触れるとカンタリジンという有毒物質を分泌するため、慌てて逃げ出す様子は見られない。

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori

モモンガ文庫

懐かしい山の本を貸出

展示コーナー紹介 その④

網張ビジターセンターには多くのみなさんから寄せられた図鑑をはじめ、記録や紀行、文庫本など様々なジャンルの本が沢山あります。展示コーナーではその中から「山」にちなんだ本をまとめて「モモンガ文庫」を開設しており、山好きのみなさんに利用して頂いています。ちょうど山の古道具コーナーの一面ですので、ペレットストーブの暖かい炎に包まれ、山小屋の雰囲気の中で読むことができます。貸出も行っていきますのでどうぞご利用下さい。



被災地支援にも活用

雫石町立図書館では、被災地の仮設住宅に暮らすみなさんへの支援の一環として、図書を送る運動を呼び掛けていました。網張ビジターセンターでは蔵書の中から120冊を選定し、一緒に活用して頂くように寄贈しました。



おしえて

日帰り温泉館の隣にビジターセンターがあったなんて、知りませんでした。いつ出来たのですか？

「意外と多い質問です」

壁をお色直し

ビジターセンター 冬を前に リニューアル工事

網張ビジターセンターは、平成17年1月21日にオープンしました。

それから9年が経過し、小さな修繕を重ねて来ましたが、今回、冬を前に建物とテラスデッキの全面塗装を行いました。

また、隣の温泉館とよく間違えられる事が多かったため、玄関の表示を目立つように改善、雪が降れば氷で覆われた玄関の庇を短くし、屋根の雪や氷が滑りやすい塗料を塗るなど、冬期対策も行いました。

🌋 温泉帰りにお立ち寄りを

まもなく厳しい冬になりますが、スキーや温泉の帰りに是非お立ち寄りください。ニューズレター読者のみなさん、まだ知らない人が沢山います。お友達にも網張ビジターセンターの施設をぜひご紹介ください！



化粧直しを終えた網張ビジターセンター



玄関の庇は短く切詰め



温泉館側から見たビジターセンター（奥）知らずに素通りされてしまうことも多い

工藤義之さんの水彩画エッセイ

岩手山三十六景と岩手山百景より

今回、岩手山を描く前提として富士山を描いた葛飾北斎の富嶽三十六景の構図に近いものに似せて“岩手山三十六景”でも描くこととしました。北斎が描いた富嶽三十六景では富士山を遠景に描いて、近景に特徴のあるものを描くことでその場所を特定する描きかたをしているものがあります。橋では、深川萬年橋・両国橋・日本橋があり、工作物では、浅草本願寺・隠田の水車・駿河町越後屋・小石川の茶屋などがあるので、そのテーマにあった岩手山を描く場所を探し求めた結果が次の二枚です。



盛岡駅西側の杜の大橋の向こうに臨む岩手山です。しかしこの橋は雫石川に架かっている橋ですがこの絵の橋は、川には架かっているのではなくて川を過ぎて陸の部分に架かっている橋です、いわゆる陸橋です。アーチ型の橋は盛岡市内ではあまり見る事がないので是非ご覧下さい。子ども科学館付近から見る事が出来ます。

御所ダム下流、雫石川の鹿妻穴堰頭首工取水口から山越に臨んだ岩手山です。盛岡から繋温泉に向かい市営の太田テニスコートを過ぎると、赤い三角屋根の三棟の塔のようなものが突然視界に入ってきて、場違いな建物に思わずメルヘンチックな童話的雰囲気させられ、絵にしたいくなりました。



岩手山柳沢コース あらためしよ 旧改所ルートの復活作業始まる

むかし、岩手山で信仰による登山が盛んだった頃は改所が設けられ、「お山役銭＝入山料」を払って入山していたそうです。昭和50年前後から、砂防ダム建設の影響もあって改所跡を通るルートは使われなくなり深いササと灌木に埋もれていきました。この歴史を秘めた登山道を復活させようという阿部丕顕さんの呼びかけで岩手山地区パークボランティア、岩鷲山岳会、滝沢村山岳協会等の18名が集まり11月4日に刈り払い作業を行いました。来年の岩手山山開きには一般の方にも利用してもらうよう雪解け後に最終整備をする予定だそうです。途中には「奥の富士」と彫られた江戸時代の石碑も立派に残っており、ここを通ることで岩手山の新たな魅力に会えるかもしれませんね。

今回作業中の旧改所ルート



今年の作業は終了「奥の富士」石碑前で

10月6日(日) 「秋の網張高原ハイキング」



◆参加者19名 パークボランティア2名
 地元の宿泊施設のグループと共催で初めて行った行事。高原の爽やかな秋の光の中で、のんびりハイキングをしたあと、昼食の特製スープカレー、温泉入浴など楽しい1日を過ごしました。

10月12日(土) 「秋の岩手山麓ウォーキング」

◆参加者21名 パークボランティア3名
 「全国自然歩道歩こう行事」の一環として滝沢村と共催。相ノ沢から鞍掛山を経て馬返まで行き出発点に戻る13kmのウォーキング。途中たわわに実ったヤマブドウやヤマナシの味が格別でした。



10月27日(日) 「紅葉の鞍掛山自然観察会」

◆参加者17名 パークボランティア4名
 ハッとするほど鮮やかなヒトツバカエデの黄葉や赤や黒に色づいた木の実、片山千賀志先生のユーマスな解説を聞きながら参加者それぞれが、自然の見せる季節感を味わっていました。



11月2日(土) 「秋のクラフトわらぼうり作り」



◆参加者5名 パークボランティア1名
 自然物を日々の暮らしに利用した伝統技術を学んだ1日。雫石町長山の階 美栄子ご夫妻から、昔の暮らしぶりのお話を聞きながら、悪戦苦闘、最後には立派なわらぼうりが完成しました。

*インフォメーションコーナー 詳しいお問い合わせは網張ビジターセンターまで

● ビジターセンター企画展 ●

「岩手山 ^{うた}八幡平を詩う」・「岳人」

菊池 健逸 写真展

ビジターセンター展示コーナーで11月1日より12月28日まで



・・岩手山と八幡平の自然が一瞬だけ見せる表情を切り取ることに苦心しました。その「静」と白黒時代に撮った登山者の「動」を対比することで自然と人との関係を見つめてみたいと思います。(菊池さんのご挨拶から)

自然ふれあい行事参加受付中!

「網張の森スノーシューハイキング」

12月15日(日)

網張ビジターセンター集合 9:30~14:00
 定員20名 参加費800円 小学生600円



網張の森のミツバツグリ 90%は虫の住民あり

「鞍掛山スノーシューハイキング」

平成26年1月25日(土)

相の沢登山口集合
 9:30~14:00
 定員20名
 参加費大人500円 小学生300円

十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆9月 2,220人 ◆10月 2,099人
 朝9時のビジターセンター平均気温 ◆9月 13.6℃ ◆10月 8.5℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/>

E-mail: amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 9時~17時 冬期(11月~3月) 毎週火曜日休館

モモンガのつぶやき

里の方では枯葉が落ちると何だか寂しい気持ちになるが、森では生い茂っていた葉っぱが落ちると見通しがよくなりとても明るくなる。主役だった花や葉っぱなくなると、木そのものの姿が見られ樹皮がモザイク調のもの、縦や横に筋の入ったもの、つるりとしたものなど多種多様な木が生えていることがわかる。この時期からの見どころもたくさんあるなあ。(佳)

